
あなたといたい

しらりーらー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あなたといたい

【Nコード】

N2584V

【作者名】

しりりー

【あらすじ】

FBIと協力して俺たちは黒の組織を潰すことに成功した。だが、ジンが建物を爆破させ、コナンたちは怪我をして病院に入院することとなった。

FBIから知らされたことは

「アポトキシン4869のデータが消されていたという真実。

コナンと哀はどうするのか。

初の小説です。よろしくお願いします。

続き

コンコン。ノックがした。

多分、灰原だろう。

「入るわよ」

「おう」

そう、俺は博士ん家に泊まったのだ。

「あのね、博士が言っつて、蘭さんにあなたの正体がばれたわ。」

「んだつて？それで？蘭は？」

「蘭さんも違う部屋にいるわよ。」

「そうか」

「なあ、灰原、あとで話せるか？」

「いいわよ、眠たそうだから、少し寝てなさい。」

「そうする」

「そういやあん時、お前、宮野志保に戻ってなかった？」

「ええ、あなたをつけるために戻ったのよ。いつ幼児化するかわかんないから」

「そうだったんか」

「ええ、じゃ、お休み」

「おう」

俺は三分で眠りについた。

起きるともう午後一時。

階段を登ると話をしようとしている相手、そう灰原がいた。

「あら、起きたのね」

「オメー昨日今日と何回あら、って言っつてんだよ。」

「しょうがないでしょ。癖よ」

「で、さっきの話って何かしら」
「いや、ここじゃいづれーよ」
「あら、襲うつもり？」
「チゲーよ」

地下室

「で、話って何かしら？」
「いや、そ、その、す、つ、付き合ってください」
「は？買い物なら自分で行きなさい」
「いや、そうじゃなくて、好きだから、付き合ってください」
「あら、そんなにわたしのパンチラが色っぽくて好きなのかしら」
「そうじゃなくて、お前のことが大好きだから」
「……あなた、蘭さんを完全に裏切ってるわよ」
「それでもいい。だから、その、お前の本心を聞かせてくれ」
「……わたしも、あなたのことが好き。だから付き合っても問題ないけど、私たちの正体をした蘭さんが許してくれるかどうか問題。」
「大丈夫、蘭は。すぐではないかもしれないけど、俺たちのことを認めてくれるさ」
「そうね」
そう言い二人は濃厚なキスをした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2584v/>

あなたといたい

2011年10月9日13時27分発行